

2026 年 8 月 20 日

各 位

会社名 バルテス・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 田中 真史
(コード番号：4442 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 西村 祐一
(TEL. 06-6534-6570)

滋賀大学との「ソフトウェア品質・データサイエンス研究センター」設置に関するお知らせ

当社は、データサイエンスおよび AI 分野の教育研究を先導し、産学官連携を通じた人材育成と社会課題の解決に取り組む国立大学法人滋賀大学（滋賀県彦根市馬場 1-1-1、以下「滋賀大学」）と、2026 年 7 月 8 日に締結した連携及び協力に関する協定に基づき、AI 時代におけるシステム開発の品質・安全性向上をテーマとした課題解決にデータサイエンスの見地から取り組むことを目的として、本日付で滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター内に「ソフトウェア品質・データサイエンス研究センター（Software Quality and Data Science Center）」（以下、研究センター）を設置いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 研究センター設置の目的及び概要

AI をはじめとするデジタル技術の急速な進展に伴い、社会や産業界においては、AI を利用したシステム開発が一般的となり、より AI に適したデータ活用や、AI が開発したシステムの安全性や運用性をどのように担保するのが重要なテーマとなっています。本センター設置により、両者が有する専門的知見や人的・知的資源を活用しながら、AI 活用したシステムの品質を評価・担保するための品質基準の構築、及び AI によるシステム開発の安全化・効率化を図るとともに、これらに携わる高度専門人材の育成に取り組むことで、AI 時代に即したソフトウェア・システムの品質・安全性向上と新たな価値創造を目指します。

2. 研究テーマ

社会における AI 活用が急速に拡大する中、AI を安心して使うには、品質を適切に評価・担保するための考え方や基準の整備が必要になっています。本研究センターの研究テーマに関しては、2026 年 7 月 8 日の連携協定締結時に発表いたしました以下研究テーマの他、AI 時代におけるシステム開発の品質・安全性向上に資する新たなテーマにも挑戦することで、AI を「使える」だけでなく「安心して使える」社会の実現に向け、社会の信頼を支える取り組みを進めてまいります。

- ・ 確認ポイントの見極め AI
- ・ AI エージェント業務組込み
- ・ ローカル LLM を含む生成 AI 活用環境の整備
- ・ AI 機能の品質基準

3. 今後の見通し

本研究センター設置が2027年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、一方で、本研究センターの設置は、2026年に当社が新中期経営計画にて発表いたしました「生成AIテストツール開発投資戦略」を補完・強化し、AI時代における当社ソフトウェア品質保証技術の高度化や新たなサービス開発の推進、人材育成および産学連携による技術基盤の強化につながるものであり、中長期的な当社グループの事業拡大および企業価値向上に資するものと考えております。

以上